



学校便り **浅海**

松山市立浅海小学校
2019.3.5



開校記念日によせて

校長 芳野 妙美

春の足音が聞こえる季節になりました。上の写真は、3階の6年生教室前にある雛人形です。卒業式が近いことを知らせてくれています。表情はとても優しく穏やかですが、どこどことなく寂しさも感じるのは私たち教師だけでしょうか。6年生との残りわずかな日々を、大切にしたいと思います。

3月6日(水)は浅海小学校の「開校記念日」です。明治7年以来、145年の歴史を刻んできました。浅海小学校を巣立った卒業生は4357人、今年度の6年生二人は、4358人目と4359人目になるわけです。

6日の朝会の校長訓話で、開校記念日や浅海小学校の歴史について話すのが、校長の大切な務めだと引き継いでいます。そこで、リサーチすべく先日行われた「学校関係者評価委員会」の場で、右のような写真を見ていただきました。地域の方から一つでも新しい情報を収集することができれば・・・、そんな思いでした。

昭和の校舎の写真では、皆さん懐かしそうな表情になり、「この校舎で過ごした。」という方がいらっしゃいました。中でも安永公民館長さんの「あの大きな木はユーカリの木で、今も公民館に切り株だけある。」というお話に引き付けられました。写真の矢印の木がユーカリの木です。校舎が建てかわっても、まるでシンボルツリーのように凜とそびえ立っています。

何気なく訪れている公民館の、一体どこにそんな歴史の遺物が・・・？

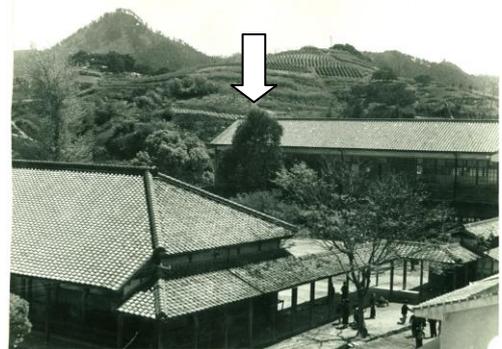
さっそく教頭と、切り株を訪ねる旅に出ました。

皆さんは、公民館前の駐車場の端っこにガザニアの花壇があるのをご存知でしょうか。そこに、忘れられたように、でも今なおしっかりと根付いているかのように、ユーカリの切り株が見えているのです。形は変わってしまったけれど、浅海小学校の移り変わりを長年見続けてきたこのユーカリの木(切り株)に、歴史の重みを感じました。

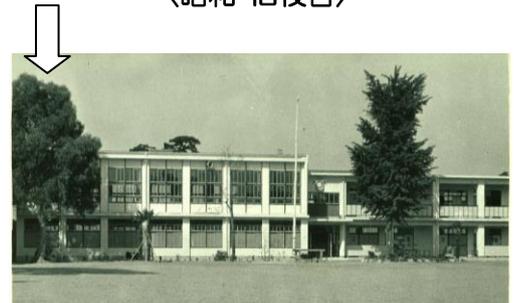
今年度の開校記念日には、ユーカリの話を加えることができるのをうれしく思います。公民館という身近な場所に「浅海小学校の歴史」を感じるものがあることを知り、切り株に対する思いをあらたにもってくれたら幸いです。



〈明治42年〉



〈昭和 旧校舎〉



〈昭和34年 新校舎〉



〈公民館に残るユーカリの切り株〉

2月20日(水)に行われた今年の遠足の目的地は、萩原地区。全校児童が徒歩で向かいました。低学年にはやや長い距離でしたが、最後まで頑張って無事目的地に到着しました。その後、縦割り班で萩原地区の各ポイント(萩原公園・馬頭堂・山神社・法正寺)を回りました。各ポイントで出題されるクイズやゲームに取り組み、全班無事ゴールしました。とても暖かく、春を感じさせる陽気の中、子どもたちは、縦割り班で楽しい思い出作りができました。

縦割り班で思い出作り！全校遠足！



浅海 forever! 名石山登山&記念植樹



3月2日(土)、6年生・保護者・教員・名石山保存会の方々とともに、桜の記念植樹と登山が行われました。この行事は卒業記念として長く続いているものです。当日は晴天で、頂上から見える景色はとてもすばらしく、卒業生の心に残る1日となりました。関係者の皆様、本当にありがとうございました。

JUMP!なわとび集会!

2月26日(火)、全校児童が種目別で日頃の成果を競い合う「なわとび集会」が行われました。部門に分けて行われ、種目別のチャンピオンにはそれぞれメダルが送られました。新しい跳び方を紹介する部門では、縄を絡ませて跳んだり、三重跳びに挑戦したりしました。

